

2006年 4月1日制定

2012年10月1日改訂

2019年 1月1日改訂

クボタグループ行動憲章・行動基準

<行動憲章>

1. お客様の満足

- ・クボタグループは、お客様のニーズに適合した、魅力あふれる製品・技術・サービスを提供し、お客様の満足と信頼を追求します。
- ・クボタグループは、製品安全と優れた品質の確保に努めます。

2. 法令遵守と倫理に基づいた企業活動

- ・クボタグループは、各国・各地域の関係法令およびその精神を遵守し、社会の倫理や良識に従った企業活動を行います。

3. 人権の尊重

- ・クボタグループは、すべての人の尊厳と権利を尊重し、人権侵害を行いません。
- ・クボタグループは、プライバシーの尊重と、個人情報の保護に努めます。

4. 安全で活気に満ちた職場の形成

- ・クボタグループは、安全で健康的な職場環境の維持、向上に努めます。
- ・クボタグループは、従業員の多様性・創造性・挑戦意欲を尊重し、活気に満ちた職場をつくれます。

5. 地球環境・地域環境の保全

- ・クボタグループは、地球規模で持続的な発展が可能な社会の実現をめざします。
- ・クボタグループは、環境に配慮した製品・技術・サービス・企業活動を通じて、地球環境・地域環境の保全に貢献します。

6. 国際社会・地域社会との共生

- ・クボタグループは、各国・各地域の文化・習慣を尊重し、地域社会とのコミュニケーションを通じて信頼関係を築き、良き市民として社会との共生を図ります。

7. 経営の透明性の向上と説明責任の履行

- ・クボタグループは、適時かつ適切に企業情報を開示し、企業活動の透明性を高め説明責任を履行します。

<行動基準>

1. お客様の満足

(1) 製品安全と優れた品質

- ・私たちは、お客様の満足と信頼を得るために、安全で優れた品質の製品・技術・サービスの提供に努めます。そのために、法令や規格・基準・お客様との契約事項に適合することはもちろん、開発から製造、販売、サービスにいたる各業務プロセスで、担当部門が責任を持って安全性と優れた品質を確保します。
- ・私たちは、万一、安全上の問題がありうると判明した時は、関係部門に迅速かつ正確に報告し、問題の解決と拡大防止に努めます。
- ・私たちは、「クボタグループには会社の品格を損なってまでも、追求しなければならない売上や利益は存在しない」という考え方の下、お客様に対する品質保証が最優先であることを認識して、業務を遂行します。

(2) お客様のご要望・ご不満への対応

- ・私たちは、お客様からご要望・ご不満をいただいた場合は、お客様の立場に立って、迅速かつ的確に対応します。
- ・私たちは、お客様からいただいたご要望・ご不満を品質の改善とクレームの未然防止につなげ、必要な情報開示を適切に行います。

(3) 適切な広告・表示

- ・私たちは、お客様に商品の特徴などを正しく伝えます。商品の広告や表示にあたっては、性能や品質、価格を誤認させるような表現や表示は行いません。

2. 法令遵守と倫理に基づいた企業活動

(1) 法令遵守と企業倫理は企業活動の基本条件

- ・私たちは、法令遵守と企業倫理の堅持は企業活動を進めて行く基本条件であることを認識し、企業活動のあらゆる局面において、法令および企業倫理を遵守し、誠実に業務を遂行します。

(2) 各国・各地域の法令と国際ルールへの遵守

- ・私たちは、各国・各地域の法令を十分調査して遵守し、適正な企業活動を行います。
- ・私たちは、国際取引において、条約、協定などの国際ルールを遵守します。

(3) 不正行為の早期発見と未然防止

- ・私たちは、業務に関して、法令や企業倫理に違反する疑いがある場合は、上司や担当部門に報告するか、社内の通報窓口に相談・連絡します。
- ・私たちは、通報者のプライバシー保護を徹底し、通報者に対して通報したことを理由に不利益な扱いは一切行いません。

- (4) 競争関係法令の遵守
- ・私たちは、「公正かつ自由な競争」を尊重します。独占禁止法、その他の競争関係法令を遵守し、違法行為に関与しません。
- (5) 公正で透明な取引
- ・私たちは、様々な取引先との間に、開かれた取引関係を基本にした公正で透明な関係を築きます。
 - ・私たちは、法令遵守と社会的責任への取り組みを取引先にも促します。
 - ・私たちは、発注者の立場を利用して、取引先に金品や特別扱いを求めるような行為は行いません。
- (6) 社内ルールの遵守
- ・私たちは、グローバル理念「クボタグローバルアイデンティティ」の精神をよく理解したうえで、行動憲章・行動基準および就業規則をはじめとした、各種の社内ルールに従い、誠実に業務に取り組みます。
- (7) 会社の正当な利益に反する行為の禁止
- ・私たちは、役員・従業員としての立場を利用して、会社の正当な利益に反して個人の利益を図ることは行いません。
- (8) 会社資産の保全
- ・私たちは、土地、建物、機械設備、事務用品などの会社資産を、業務目的以外には使用しません。
 - ・私たちは、パソコンやスマートデバイス、その上のソフトウェアや情報システムなどの情報資産も、業務目的以外には使用しません。
- (9) 知的財産権の尊重と活用
- ・私たちは、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、ノウハウなどの他者の知的財産権を尊重し、不正な使用は行いません。
 - ・私たちは、自社の知的財産が他者によって不正に使用されないよう、適切に管理・保全します。
 - ・私たちは、自社の知的財産を有効に活用します。
- (10) 機密情報の管理
- ・私たちは、営業・技術・経営・個人情報などの機密情報（社外に公開されていない業務上の情報の全て）を、法令と社内ルールに従い適切に管理します。
 - ・私たちは、退職後もそれらの情報を、電子情報・紙情報にかかわらず、許可なく持ち出したり、利用・開示しません。
 - ・私たちは、情報を入手する場合は、正当な権限を有する者から正当な方法で入手します。

- (11) 電子情報のセキュリティ
- ・私たちは、電子情報の漏えいや、他者による盗用、改ざんが発生しないよう法令と社内ルールに従い適切に管理し、情報セキュリティを徹底します。

3. 人権の尊重

- (1) 人権の尊重
- ・私たちは、世界人権宣言を支持し、すべての人の人権を尊重します。
 - ・私たちは、国籍、人種、年齢、性別、性的指向や性自認(※)、障がいなどいかなる事由による差別も人権侵害も行いません。
(※)性自認とは：「自分自身の性別をどう認識するか」という概念。
 - ・私たちは、強制労働や児童労働を認めず、取引先に対しても、その旨を要請します。
- (2) ハラスメントの禁止
- ・私たちは、様々なハラスメントやいじめなどの人権侵害を認めません。お互いを大切なパートナーと考え、豊かな人間関係を築くように努めます。
- (3) 個人情報の保護
- ・私たちは、お客様および役員・従業員などのプライバシーと個人情報の重要性をよく認識し、法令と社内ルールに従って適切に取り扱い、個人情報の紛失、漏えいなどの防止に努めます。

4. 安全で活気に満ちた職場の形成

- (1) 安全衛生・健康管理の徹底
- ・私たちは、働く人の安全と健康を守るため、設備や作業方法の安全化に取り組み、職場にひそむ危険有害要因の除去に努めます。
 - ・私たちは、それぞれの持ち場で法令と社内ルールを遵守して安全な作業を行います。特に、経営幹部は、安全衛生・健康管理を事業運営の基本において、設備や機械の改善と快適な職場づくりに努め、安全衛生・健康管理の責任を果します。
- (2) 活気に満ちた職場の形成
- ・私たちは、明るい活気に満ちた職場づくりに努めます。
 - ・私たちは、コミュニケーションを円滑にし、お互いの心身の健康に配慮します。
 - ・私たちは、従業員の多様性・創造性を尊重し、常に変化に挑戦します。

5. 地球環境・地域環境の保全

- (1) すべての企業活動における環境保全への取り組み
- ・私たちは、製品開発・生産・販売・物流・サービスなど、企業活動のすべての段階で環境保全を推進します。

- ・私たちは、取引先に対しても、環境保全活動への理解と協力を求めます。
- (2) 地球環境保全への取り組み
- ・私たちは、気候変動への対応、循環型社会の形成、水資源の保全、化学物質の管理を推進することにより、地球環境保全に貢献します。
 - ・私たちは、環境問題の解決に資する製品・技術・サービスを、社会に提供することにより、地球環境保全に貢献します。
 - ・私たちは、自然環境や生物多様性に配慮した企業活動に努めます。
- (3) 地域社会との共生を図る環境保全への取り組み
- ・私たちは、環境リスクの低減に努め、環境汚染の未然防止など地域環境の保全に配慮した企業活動を推進します。
 - ・私たちは、地域の環境美化・環境啓発活動に積極的に参画します。
- (4) 自主的、計画的な環境保全への取り組み
- ・私たちは、環境マネジメントシステムを導入し、自主的・具体的な目標と行動計画を定めて、日常の業務を推進します。
 - ・私たちは、環境に関する啓発・教育活動を推進し、環境意識の向上に努めます。
 - ・私たちは、ステークホルダーに対して、積極的に環境情報を発信します。
 - ・私たちは、環境コミュニケーションを通じてステークホルダーの意見を幅広く収集し、環境保全活動に反映します。

6. 国際社会・地域社会との共生

- (1) 各国・各地域の文化・習慣の尊重
- ・私たちは、各国・各地域の歴史や社会事情を十分理解し、文化・習慣を尊重します。
- (2) 輸出入関係法令の遵守
- ・私たちは、国際的な平和・安全維持の観点から、貨物・技術などの輸出入にあたっては、関係法令と社内ルールを遵守します。
- (3) 反社会的勢力との関係遮断
- ・私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力や団体に対しては、毅然とした態度で臨み、警察などの機関と連携して関係遮断を徹底します。反社会的勢力からの不当な要求には絶対に応じません。
- (4) 政治・行政への対応
- ・私たちは、関係法令を遵守し、違法な政治献金や賄賂の提供にあたる行為は行いません。政治献金や寄付などを行う場合は、法令と社内ルールを遵守します。
 - ・私たちは、外国公務員などに対しても、贈賄行為を行いません。
- (5) 接待・贈答・贈与
- ・私たちは、社会的な常識の範囲を超える接待・贈答・贈与の授受は行いません。

特に、不正な利益などの取得を目的とする接待・贈答・贈与は一切行いません。

(6) 社会への貢献

・私たちは、社会・教育・文化支援活動や、地域社会との交流、美化活動、ボランティア活動などに積極的に参画します。

(7) 安全運転の徹底

・私たちは、常に交通関係法令・ルールを遵守し、安全運転を徹底します。

7. 経営の透明性の向上と説明責任の履行

(1) 企業情報の適時・適切な開示

・私たちは、関係法令に従い、適切な時期、方法により、経営内容、事業活動などについての適正な企業情報を開示します。

・私たちは、株主・投資家をはじめ、消費者、従業員、地域社会などの幅広いステークホルダーと積極的にコミュニケーションを図り、企業活動の透明性を高め、説明責任を果します。

(2) 適正な会計・税務処理

・私たちは、売上の計上や経費の支出などの会計処理を、関係法令、会計基準および社内ルールに則り、適正に行います。

・私たちは、関係法令を遵守し、適切な税務申告および納税を行います。

(3) 内部監査の重視

・私たちは、財務報告に係る内部統制監査、決算監査、会社の基本機能に係る内部統制監査、コンプライアンスに係る内部統制監査などの内部監査を重視し、業務の品質向上に努めます。

(4) インサイダー取引の禁止

・私たちは、増資、減資、合併、提携などの未公表の重要な内部情報に基づき、自社や関係先の株式売買などを行う「インサイダー取引」や、「インサイダー取引と疑われかねない行為」は行いません。また、家族を含む第三者にこれらの情報を漏らしません。